

TRUSCO マグネットベースシリーズ

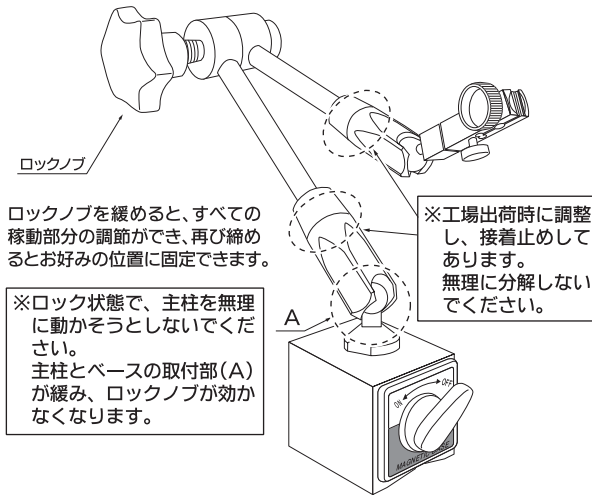
中国製

説明書適合品番

TMP-80 TMA-80 TMF-80 TMG-100 TMM-25 TML-25

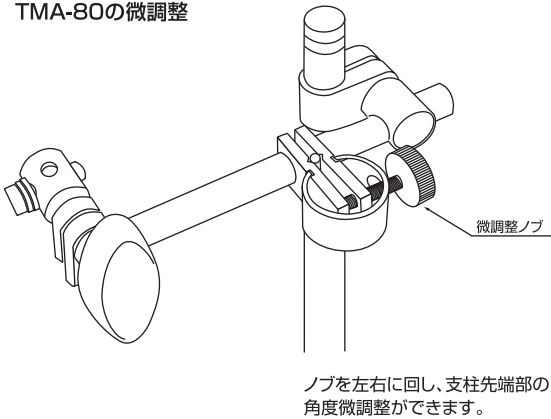
6 TMG-100/TML-25の場合

例) TMG-100

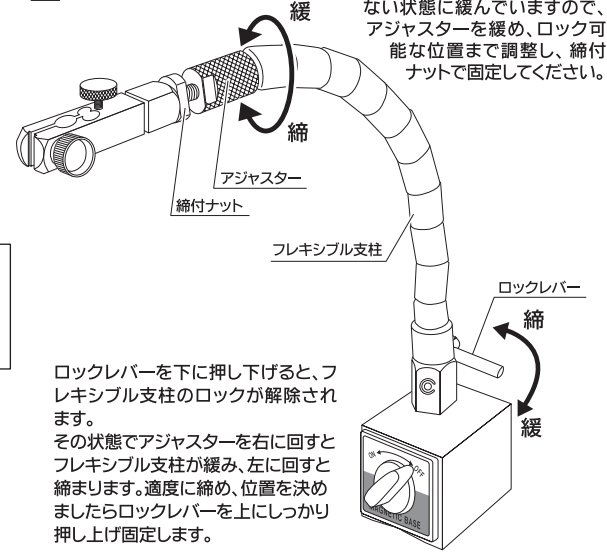


最後に微調整を行います。(TMA-80/TMG-100/TMF-80)
それぞれ下図のように調整します。

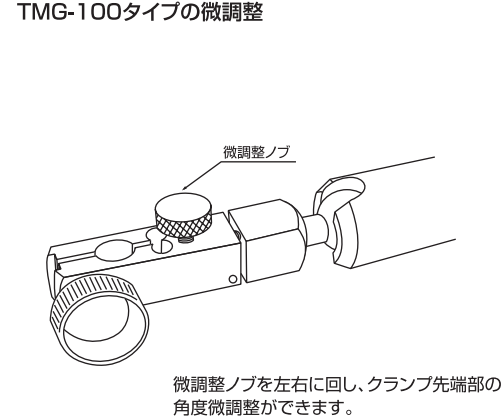
TMA-80の微調整



7 TMF-80の場合



TMG-100タイプの微調整



5 保管について

☆強い磁界が発生します

- 必ずOFFにして保管してください。ONのまま吸着面に鉄板を吸着させておきますと、不用意な吸着による事故につながります。

総発売元 **トラスコ中山株式会社**
〒550-0013 大阪市西区新町1丁目34番15号
E-mail: techno.center@trusco.co.jp
お客様相談室  **0120-509-849**

E891-Q2 10125000

取扱説明書

この度はTRUSCOマグネットベースをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、必ず大切に保存してください。

1 安全上のご注意

(1) 強い磁界が発生します

- 時計などの精密機器や磁気カードを近づけると、その機能を損なう恐れがあります。●ベースメーカー使用者は、マグネットツールを取扱わないでください。

(2) 強い磁気力を発生します

- 不用意に鋼板などを近づけると、強い吸着力のために、急に引き付けられ、指先等、ケガをする危険があります。手袋の使用等、身体の安全に心掛けてください。

(3) 吸着力が大きく変化します。

- 吸着対象物が薄いと、吸着力が低下します。●軟鋼板以外の物質では、吸着力が低下します。●吸着する面に凸凹やゴミの付着、塗装などによるすき間があると吸着力が低下します。●吸着する力に比べ、吸着物が横滑りする力のはるかに大きくなります。垂直な面に吸着させる時には特に注意が必要です。●機械の振動によって吸着物は滑りやすく、はがれやすくなります。

(4) ご使用に際しては、まず対象物に吸着させてみて、用途に足りる吸着力であることを必ず確認してください。

(5) マグネット本体を支えてON-OFF

- 不用意にON-OFFつまみを操作すると、突然磁力が消えて、落下したり、倒れたりして、事故を引き起こす危険がありますので、必ず両手を使って本体を支え、ON-OFF操作をしてください。

(6) 使用後の保管は磁力に注意

- 必ずOFFにして保管してください。(ONのまま吸着面に鉄板を吸着させておきますと、不用意な吸着による事故につながります。)

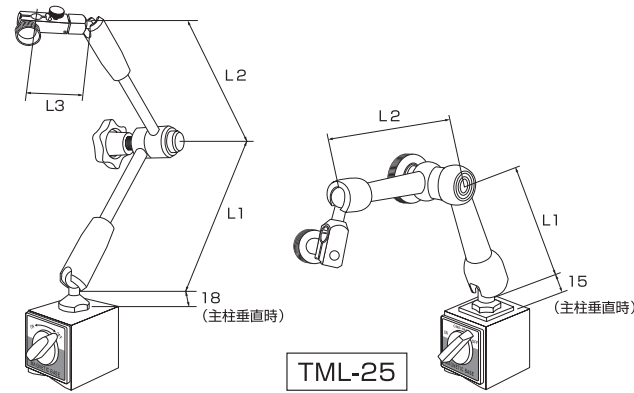
(7) 本マグネットは、工業用に設計・製作された強力なツールです。

- 本製品は、工業用に設計・製作されておりますので、一般家庭やオフィスで使用される場合は十分注意してお使いください。

2 仕様

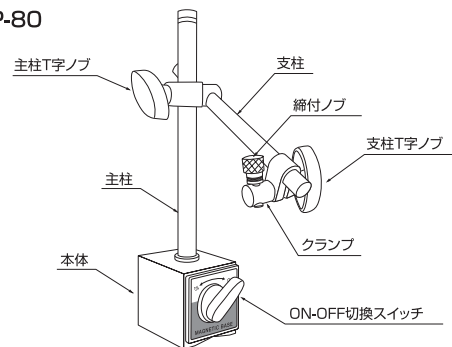
品番	仕様	ダイヤルゲージ取付穴	吸着力	本体寸法 W×D×H mm	支柱寸法 φ×L mm	支柱寸法 φ×L mm	支柱取付 ネジ径	質量 (g)
TMP-80	標準型 太支柱タイプ	φ6.0mm / φ 8.0mm/耳金付 ダイヤルゲージ用	800 N	50×60×55	14×178	12×165	M8	1500
TMA-80	標準型 アジャスター付	φ6.0mm / φ 8.0mm/耳金付 ダイヤルゲージ用	800 N	50×60×55	12×176	10×150	M8	1400
TMF-80	フレキシブル 支柱タイプ (アジャスター付)	φ6.0mm / φ 8.0mm/アリ溝付	800 N	50×60×55	16×340	—	M8	1300
TMG-100	ロックタイプ (アジャスター付)	φ6.0mm / φ 8.0mm/アリ溝付	1000 N	50×75×55	L1×L2×L3 145×125×50 (イラスト参照)	—	M8	1700
TMM-25	ミニタイプ	φ6.0mm	250 N	30×35×35	7×54	—	M5	270
TML-25	ミニロックタイプ	φ6.0mm / φ 8.0mm/アリ溝付	250 N	30×35×35	L1×L2 64×55 (イラスト参照)	—	M5	420

注意) 小型タイプに大型のダイヤルゲージなどを取り付ける場合、ダイヤルゲージの重さに対し、マグネットの吸着力が不足していないか確認して取り付けてください。吸着力不足の場合マグネットが不意に脱落し、機器の破損につながります。

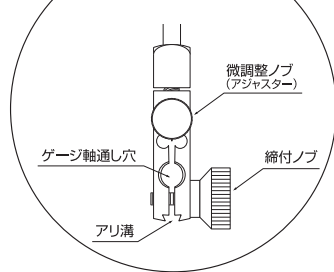


3 各部の名称

例) TMP-80



TMF-80, TMG-100,
TML-25のクランプ部



※ゲージ軸通し穴には軸径φ6用のコレットが付属しております。ゲージの軸径に合わせて使用ください。

4 使用方法

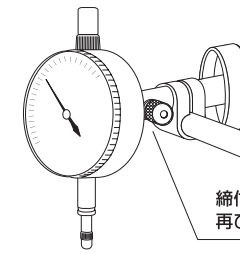
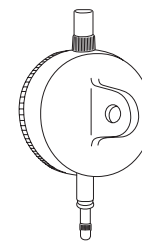
1 付属のクランプに取付可能なダイヤルゲージなどをご用意ください。(適応するタイプは2仕様欄をご確認ください) マグネットは本体のON-OFF切替により脱着可能です。

※ダイヤルゲージの耳金に取り付ける場合 (TMP-80/TMA-80) ⇒ 2を参照してください。

※ダイヤルゲージの軸に取り付ける場合 ⇒ 3を参照してください。

※ダイヤルゲージのアリ溝に取り付ける場合 (TMF-80/TMG-100/TML-25) ⇒ 3を参照してください。

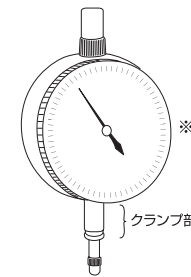
2 ダイヤルゲージの耳金に取り付ける場合



締付ノブを外し、雄ネジを耳金穴に通し再び固定します。

3 ダイヤルゲージの軸に取り付ける場合

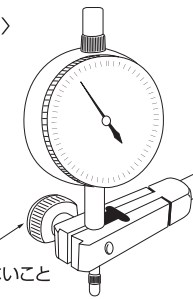
※あまり強く締めすぎないでください。



※軸の全体がクランプ部分になります

クランプ部分

<取付例 1>



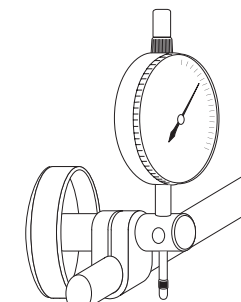
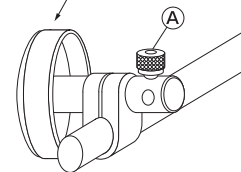
締付ノブを緩め、クランプ部のゲージを通し固定します。

注意) 固定の際、ダイヤルゲージのクランプ部分以外では固定しないでください。ダイヤルゲージの故障につながります。

注) 強く締めすぎないこと

<取付例 2>

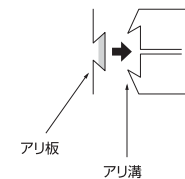
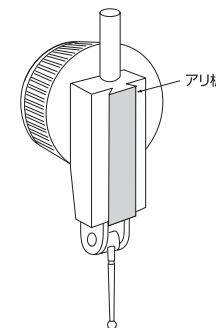
T字ノブを緩めるとAの締付ネジ部が抜けますので、その穴にダイヤルゲージの軸を通し、クランプ部分に合わせます。



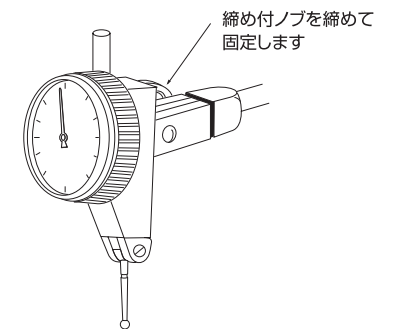
図の様にセットし、再びT字ノブを締めると固定できます。

注意) 固定の際、ダイヤルゲージのクランプ部分以外では固定しないでください。ダイヤルゲージの故障につながります。

4 テストインジケータ等をアリ溝に取り付ける場合



アリ溝



締め付ノブを締めて固定します

測定器具などを取付けた後、支柱、支柱の各ハンドルを緩め、お好みの位置に調整してください。

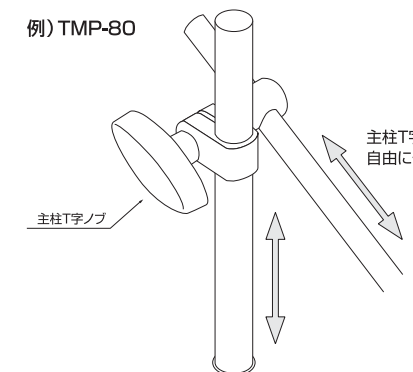
※TMP-80/TMA-80/TMM-25の調整法 ⇒ 5を参照してください。

※TMG-100/TML-25の調整法 ⇒ 6を参照してください。

※TMF-80の調整法 ⇒ 7を参照してください。

5 TMP-80/TMA-80/TMM-25の場合

例) TMP-80



支柱T字ノブを緩めると自由に位置決めが可能です。